

行仙宿補給路の整備と行仙岳北側の段差補修

◇実施日 6月26日(日) 雨のち晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、橋本梓、大江加予子、畑林清子、西克、山川自知、児嶋道夫、山口泰宏、梶野照雄、坂野良、末原りなる
12名

6月14日の梅雨入り後は雨も少なく、来週の天気予報も晴が続いていたので、この日も雨の心配はないと高を括っていたが、朝起きるとすごい雨が降っている。すぐに雨雲レーダーで確認すると2〜3時間で通り過ぎるようだ。



車庫で雨具を付ける

碎石の荷揚げ

煙突の状態

奈良、大阪からの4人もすでに出発している時間だし、児嶋、西の

お二人からも実施の問合せがあったが、とにかく現地に行つて判断すると決め新宮を出る。

午前8時半前に下北山村役場駐車場に着く。雨はまだ降っているの
で、車庫の屋根下で雨具を付けて準備する。

今日は久々に山口さん、山川自知君、坂野良君が参加されている。
坂野君は近所の知人、末成りなるさんに声をかけて2人で参加され
た。末成さんは週一、二回金剛山の山頂売店でアルバイトをされて
いるようだ。

今日の作業予定などを説明し登山口に向かう。児嶋さんが到着し
ていないので梶野君と山口さんに待機していただき、9名が登山口
に着いた。登山口に児嶋さんが一人待つていた。8時半に役場駐車
場と連絡したのだが、通じていなかったようだ。

しばらくして梶野、山口の2名も到着し、補給路に敷く碎石の荷揚
を説明。雨で濡れた土のう袋は重くなっているので、決して無理
せず体力に応じた荷揚げをお願いする。

この頃から雨も止み晴れ間も少し見えるようになった。雨雲は通り
過ぎたようだ。

モノレール終点から各々が土のう袋を持って登りだす。坂野君と自
知君は2往復して10袋を持ち上げてくれた。お蔭でデポしていた
袋は無くなり、改修した補給路の8割位に碎石が敷き詰められた。
坂野君と自知君の若さのパワーに大感謝だ。

土のう袋の荷揚げを終えて小屋に向かう。初参加の末原さんは裸
足で登ってきた。途中でヒルにやられたらしく何ヶ所か出血してい
る。絆創膏を貼って出血を抑えた。

梶野、湯川、坂野の3名が水場へ降り、残り9名で小屋内外の点

検や整理を行う。児嶋さんは水場径の入り口にある鳥居風の門を造りかえると寸法を測り、小屋内の梁にある丸太を降ろし始めた。

午前11時30分になり早めの昼食を摂る。梶野君は昼食もそこそこに屋根に上がって煙突の状態をチェックする。ストーブ内に少し水が入っていたが使用に問題は無いようだ。

午後は沖崎、児嶋、大江、畑林の4名が小屋に残り、他の8名で行仙岳北側の段差補修を行う。



行仙岳山頂

4段補修

10段補修

大江、畑林のお二人は不用品などの分別や掃除。児嶋さんは鳥居材となる丸太をモノレール終点近くへ運ぶ。沖崎は便槽の汲み出しを150杯近く行った。

午後2時過ぎ、行仙岳北側から8名が戻ってきた。昨年の補修個所より山頂側で10段、山頂のすぐ下で4段の補修を行ったそう。午後2時半過ぎに下山を始める。途中の送電鉄塔下から小石を拾い集めて、各自バケツで伐採地の補給路に運んだ。これで本日の予定

作業は終了した。



雨上がりの笠捨山

本日の参加者

下山完了

雨が降っていたのでどこまで作業できるか心配だったが、モノレール終点にあった土のう袋は全部荷揚げできたので、補給路の補修も目途が立ってきた。行仙岳北側の段差も10数段補修できたので成果の大きい一日だった。皆さんのご協力のおかげで、特に坂野君と山川君の参加で予想以上に進捗を見ることが出来た。本当にありがとう。今年の梅雨はあつという間に終わってしまったが、心配なのは暑さとこの後に控えている台風だ。(記：沖崎)

行動タイム

08:30 下北山村役場駐車場→09:10 補給路登山口→09:55 モノレール終点→10:08 補修個所→10:30 行仙宿 12:42→13:

10 行仙岳→14 : 15 行仙宿 14 : 33→15 : 26 補給路登山口